

# 長野県内製造業におけるIoT導入状況調査

本調査は、県内の企業経営者に対し四半期ごとに行なっている「四半期別業況アンケート調査（2016年10-12月）」の付帯調査として実施したものです。調査実施内容については次頁をご覧ください。



## 調査結果のポイント

### 1. 県内製造業のIoT導入は2割にとどまる

- 県内製造業にIoTの導入状況を尋ねると、「全社的に運用している」と回答した企業の割合は0.6%となっている。また、「一部で運用している」（14.6%）、「試験的に運用している」（1.9%）、「システム構築を進めている」（3.8%）などを含めても、IoTの導入に動いている企業は全体の2割にとどまっている。

### 2. 現在と今後のIoTの導入形態

- IoTの導入を既に進めている企業に導入形態について尋ねると、「販売先との生産情報の連携」の回答が35.7%と最も高くなっている。このほか「生産設備同士の情報連携」（32.1%）、「製造現場から得られる新たな種類のデータ取得」（28.6%）の回答が高くなっている。
- 今後のIoTの導入形態を尋ねると、「生産設備情報と基幹システム（生産管理システム等）の連携」が68.8%と最も高く、次いで「製造現場から得られる新たな種類のデータ取得」（40.9%）、「自社工場間の生産設備の情報連携」（32.3%）、「生産設備同士の情報連携」（26.9%）となっている。

### 3. IoTで期待している効果

- IoTの導入により期待する効果を尋ねると、「生産性の向上」が83.0%と最も高くなった。次いで「生産設備や保守メンテナンス費用の削減」（27.7%）、「人件費削減」（25.9%）となっている。

人材不足が叫ばれる中、製造業においても生産性の向上は待ったなしの状況にあるが、県内では中小企業を中心にIoTの導入は遅れている。ただ導入効果が「生産性の向上」にあると回答した企業が8割を越え、また、今後の導入形態は「生産設備情報と基幹システムの連携」であると回答した企業が7割近くになるなど、導入の具体的なイメージを持つ企業も相当数存在している。費用対効果など他にも検討課題があるが、情報収集の段階から一歩抜け出し、具体的な検討を進めていくことが求められる。

照会先 一般財団法人長野経済研究所 調査部

電話 026-224-0501

担当 : 桑井、久保田

## 【 調 査 の 概 要 】

実施時期 : 2016 年 12 月中旬～2017 年 1 月上旬

実施方法 : 業況アンケート調査（2016 年 10-12 月期）の付帯調査  
として実施（郵送方式）

対象企業 : 県内製造業 291 社

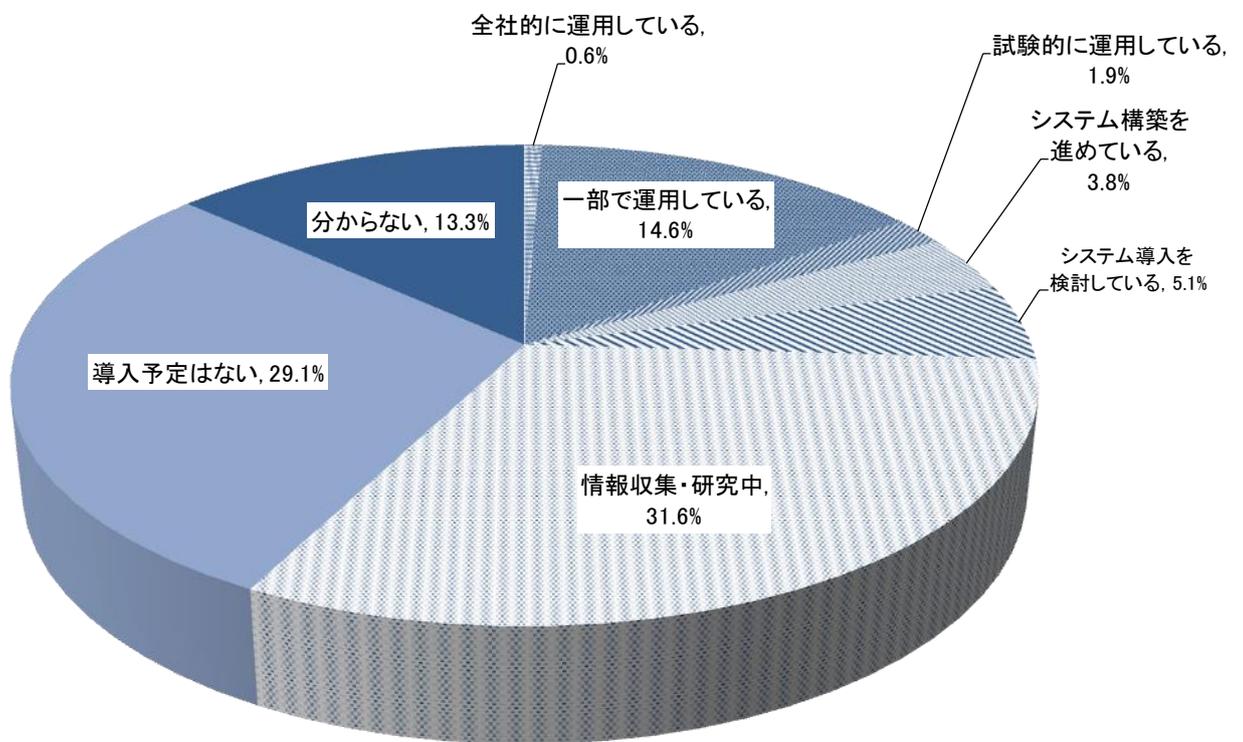
回答企業数 : 158 社（ 回答率 54.3% ）

※ グラフ等の回答割合については四捨五入して表記したため、合計が 100 に  
ならないことがある

## 1. IoTの導入状況

- ▶ 県内製造業企業にIoTの導入状況を尋ねると、既に導入して「全社的に運用している」と回答した企業の割合は0.6%となっている。また、「一部で運用している」(14.6%)、「試験的に運用している」(1.9%)、「システム構築を進めている」(3.8%)などを含めてもIoTの導入に動いている企業は全体の2割にとどまっている。

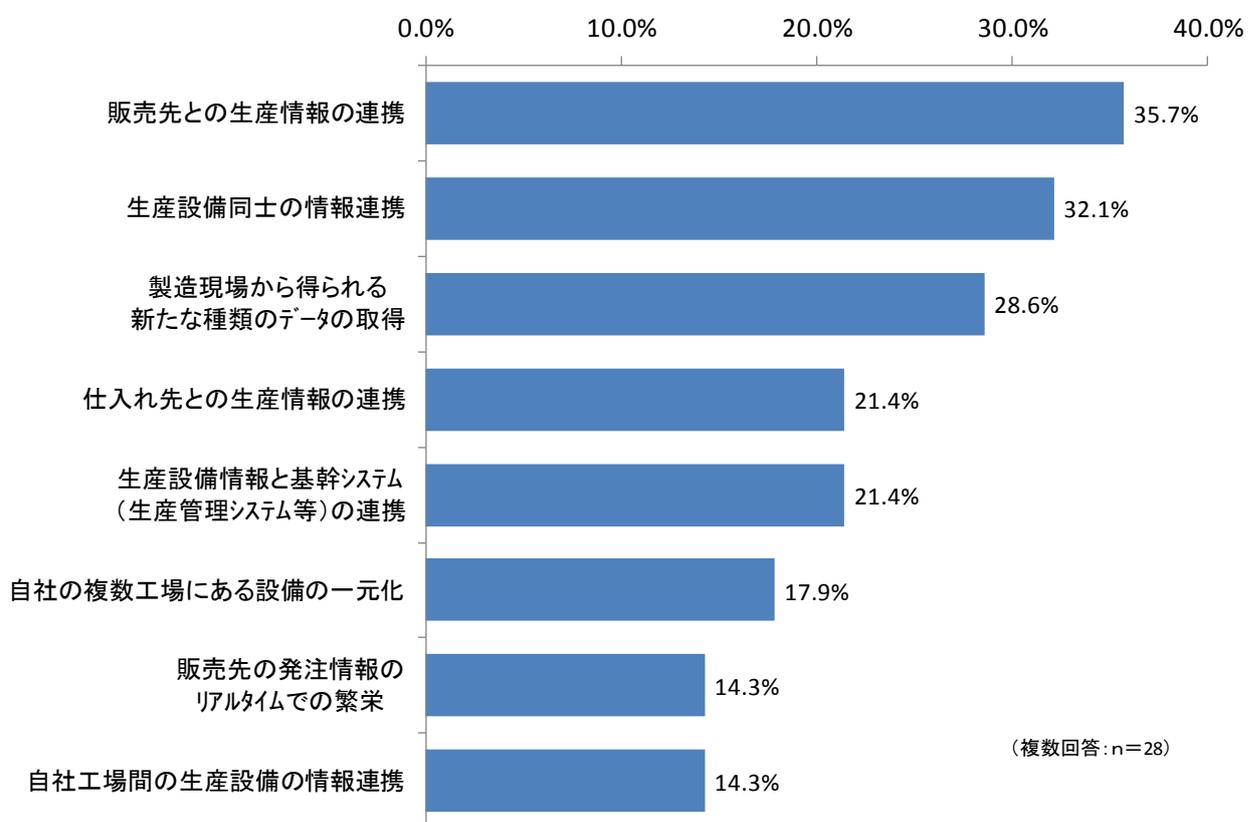
図表1 IoTの導入状況



## 2. 現在の IoT の導入形態

- ▶ IoT の導入を既に進めている企業に導入形態について尋ねると、「販売先との生産情報の連携」との回答が 35.7%と最も高くなっている。このほか「生産設備同士の情報連携」(32.1%)、「製造現場から得られる新たな種類のデータの取得」(28.6%) の回答が高くなっている。

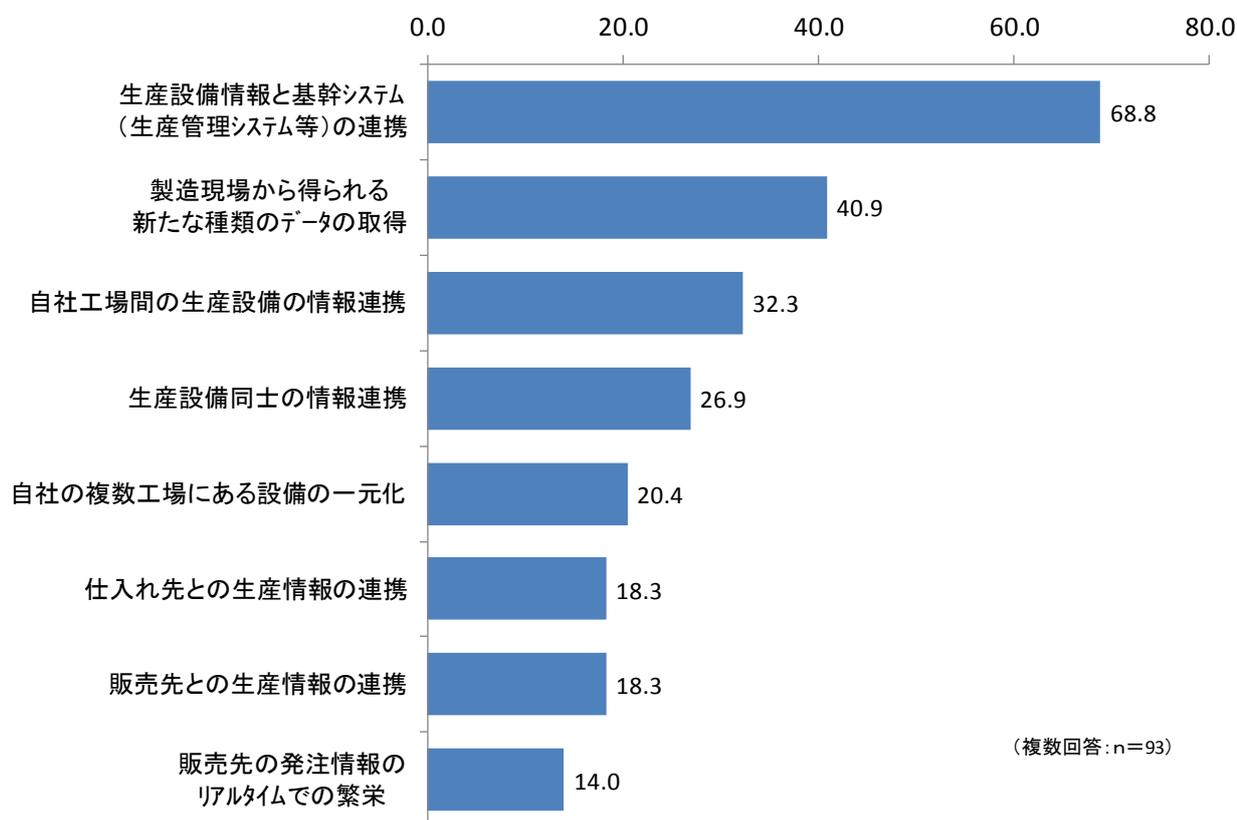
図表2 IoT の導入形態



## 今後の IoT の導入形態

- ▶ 今後の IoT の導入形態を尋ねると、「生産設備情報と基幹システム（生産管理システム等）の連携」が 68.8%と最も高くなっている。次に「製造現場から得られる新たな種類のデータ取得」（40.9%）、「自社工場間の生産設備の情報連携」（32.3%）、「生産設備同士の情報連携」（26.9%）となっている。
- ▶ 今後、IoT の導入を一層進めることで自社の基幹システムと連携し、生産性を高めようとする企業の動きがうかがえる。

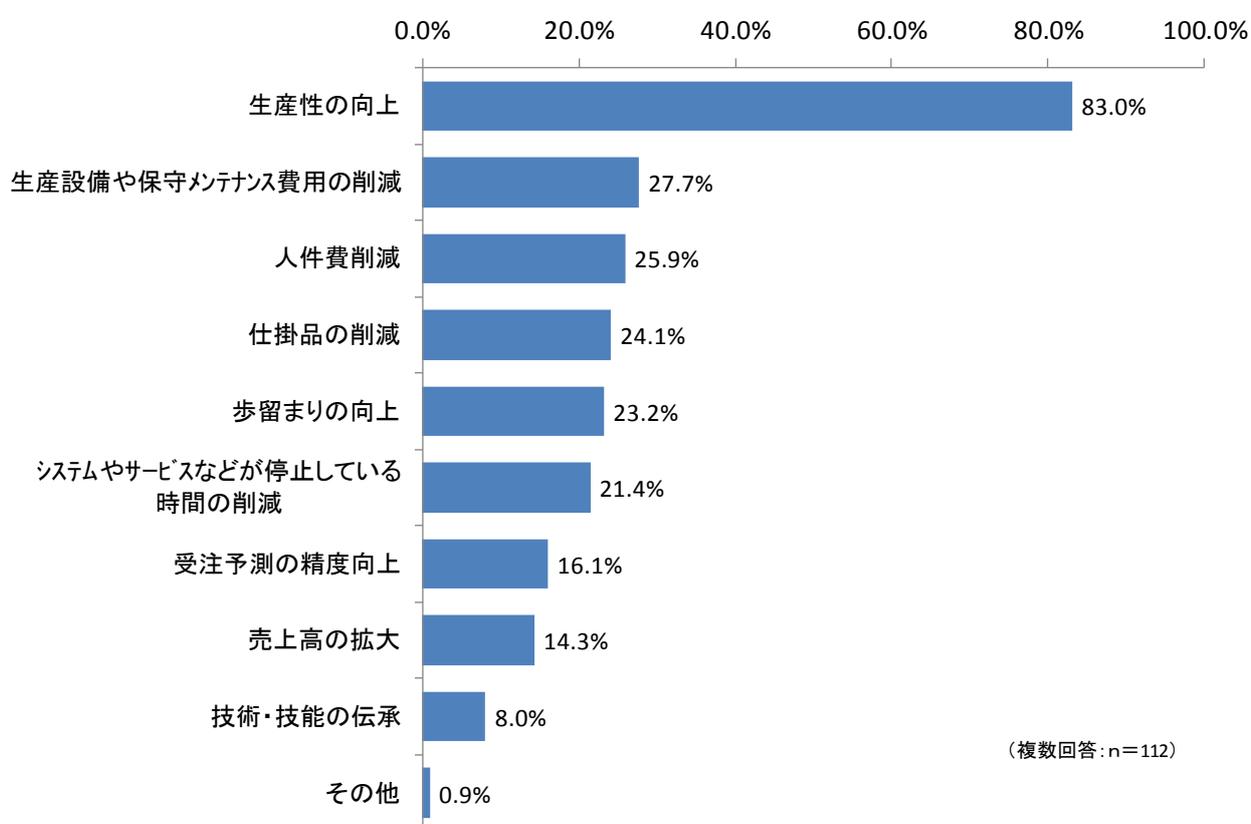
図表 3 今後の IoT の導入形態



### 3. IoTで期待している効果

- ▶ IoTの導入により期待する効果を尋ねると、「生産性の向上」が83.0%と最も高くなった。次いで「生産設備や保守メンテナンス費用の削減」(27.7%)、「人件費削減」(25.9%)となっている。

図表4 IoTで期待している効果



以上